

景観 を考えよう!

第1回 景観って何?

■玉名市の景観を考えよう!

玉名市は平成 26 年度から平成 27 年度にかけて景観行政団体への移行を視野に入れ、「玉名市景観計画」策定に取り組んでいます。

市民の皆さんが誇りを持ち、多くの人を訪れたい「玉名らしい景観」を市民の皆さんと一緒に考えてくため、5回シリーズで掲載します。



■「景観」って何?

「景観」と聞くと…

抽象的で
わからん



景観は余裕のあるところがすればよか

と、思われるかもしれませんが。しかし「景観」を考えることは、まちづくりのベース（基本）となるものです。また…

有名デザイナーの設計
や石畳みの道ばつくる
ことだろ?

建物の色や大きさの制限
ばせなんとだろ?

という意見もあると思います。これらは景観づくりの要素ではありますが、「景観の本質」ではありません。

■「玉名らしい景観」を「良い景観」に

景観とは…「見ること」です。

山なみや川、田園といった「自然的な景観」から、住宅やビル群などの「人工的な景観」まで、目で見えるものは、全て「景観」です。

「景観」は、地域の歴史や文化・人々の営みが背景となってつくりされており、先人たちが長い時間をかけて作り上げてきた風景であり「玉名市民共有の財産」です。

「良い景観」には、観光客など人が集まってきます。また、住民にとっても、まちに誇りや愛着を持つきっかけとなり、日常生活の向上につながるなど様々な効果があります。

市民の財産である「玉名らしい景観」を「良い景観」にしていくためには、市民の皆さんと一緒に考えて、行動していくことが大切です。私たちの玉名市を「景観」という視点で見つめ直し、どんな工夫が必要かを一緒に考えていきましょう。

【良い景観】



- 玉名らしい
- 「玉名に来た！」って感じ!
- 居心地良さそう!
- 面白そう!
- 行ってみよう!

【悪い景観】



- 雑然として居心地悪そう
- せっかくの玉名らしさが台無し
- わざわざ行かなくてもいいや…